

ExcelでDPCデータ分析① 自院のDPCデータを活用しよう！

医療経済研究機構 清水 沙友里
2017/8/21 DPCサマーセミナー



今年、5月！！ 増補改訂版が発売になりました。
セミナー当日に手元にあると、よりいっそう分析手法が身につきます！



「病院情報の公開」
「Hファイル」にも
対応！

Excelを駆使

伏見清秀 監修・今井志乃ぶ 著
／日経ヘルスケア 編

価格：本体円 12,000円（+税）
●書籍 + CD-ROM 1 枚

DPCに関する基礎知識

自院のDPCデータを活用する

Section1 データを用意して集計・分析にトライ
Section2 基礎・応用で分かる 集計・分析の実際

厚生労働省のDPC公開データ を活用する

Section1 データを用意して集計・分析にトライ
Section2 基礎・応用で分かる集計・分析の実際

DPC以外の各種統計データを 知る

Section1 各種統計データの入手法と指標が示す意味
Section2 集計・分析の実際～統計データからできる分析

本プログラムの内容

1日目（自院のデータを活用しよう！）

DPCデータ分析概論、分析に必要な前処理

Lesson1：MDC別手術の有無別件数を棒グラフで示す

Lesson5：65歳未満および65歳以上の患者における入院中の大腿骨骨折の発生率を集計

Section3 Q2：診療科別の主要手術トップ3の術式について、症例数、術前・術後日数、転院率、平均年齢を自院のホームページに掲載します。どのような手順で進めればいいのでしょうか？（病院情報の公表）

2日目（地域での立ち位置を確認しよう！）

1日目のまとめと補足

Section3 Q4：Hファイルにある重症度、医療・看護必要度のデータを基に、病棟ごとに効果的な看護師の傾斜配置につなげたいと考えています。どのような手順で進めればいいのでしょうか？

厚生労働省の公開データを活用する

Lesson 1：県内および同規模医療機関におけるMDC別平均在院日数の比較

DPCコード体系（14桁の意味をもった数値）

①主要診断群 = MDC

(Major Diagnostic Category)

1 8の疾病群に分かれる

| MDC | MDC名称 |
|-----|-----------------------|
| 01 | 神経系疾患 |
| 02 | 眼科系疾患 |
| 03 | 耳鼻咽喉科系疾患 |
| 04 | 呼吸器系疾患 |
| 05 | 循環器系疾患 |
| 06 | 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患 |
| 07 | 筋骨格系疾患 |
| 08 | 皮膚・皮下組織の疾患 |
| 09 | 乳房の疾患 |
| 10 | 内分泌・栄養・代謝に関する疾患 |
| 11 | 腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患 |
| 12 | 女性生殖系疾患及び産婦科疾患・異常妊娠分娩 |
| 13 | 血液・造血器・免疫臓器の疾患 |
| 14 | 新生児疾患、先天性奇形 |
| 15 | 小児疾患 |
| 16 | 外傷・熱傷・中毒 |
| 17 | 精神疾患 |
| 18 | その他 |

②病名 = ICD-10に対応

③DPC 14桁

どのような診断でどのような医療行為を行ったかの組合せ

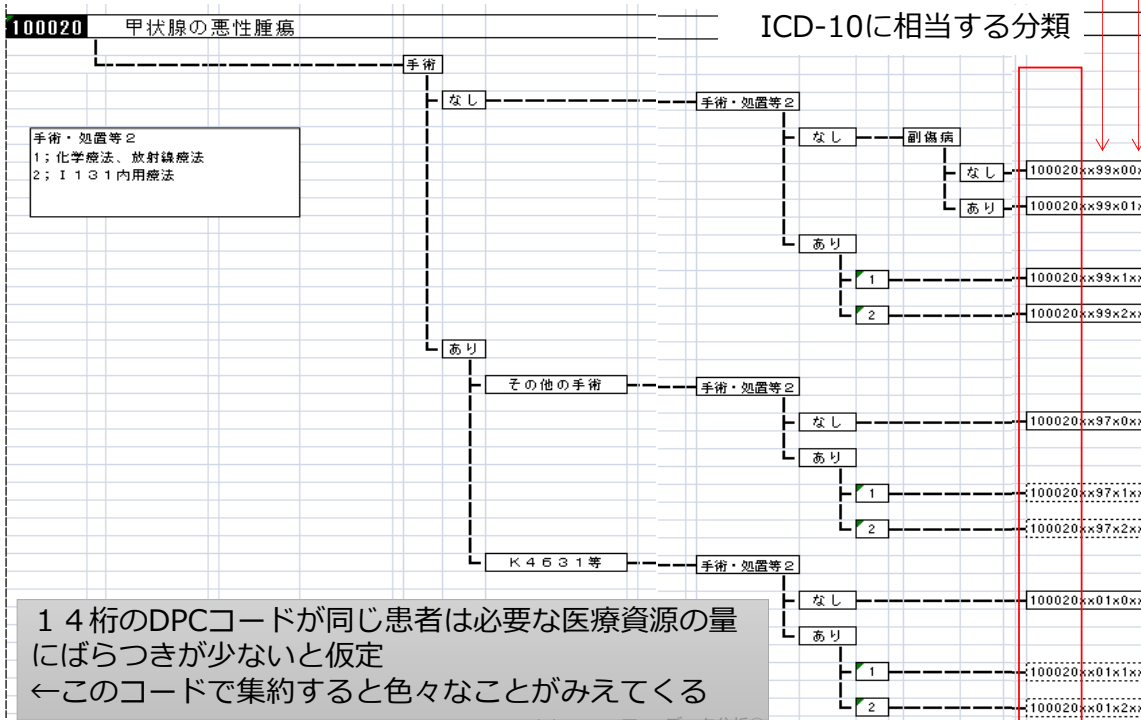
※電子点数表で確認できる



2, 8 7 3 分類の軌跡 (樹形図)

特定の処置の有無

特定の手術の有無



手術・処置等2
1: 化学療法、放射線療法
2: I 1 3 1 内用療法

1 4 桁のDPCコードが同じ患者は必要な医療資源の量にばらつきが少ないと仮定
←このコードで集約すると色々なことがみえてくる

2017/8/21 ExcelでDPCデータ分析①

引用) ●電子点数表26年度版

医療資源
少ない

医療資源
多い

5

CCPマトリックスの導入によるDPCコード数の変化

平成28年度診療報酬改定

算定ルールの見直し(5)

診断群分類点数表の見直し

➤ 診断群分類の見直しを行い平成28年度改定においては以下の通りの分類となった。

| 改定時期 | MDC数 (※1) | 傷病名数 | DPCコード (総数) | うち包括対象 DPC数(※2) | 支払い分類 (※3) |
|----------------|--------------|------------|----------------|--------------------|---------------|
| 平成15年4月 | 16 | 575 | 2,552 | 1,860 | |
| 平成16年4月 | 16 | 591 | 3,074 | 1,726 | |
| 平成18年4月 | 16 | 516 | 2,347 | 1,438 | |
| 平成20年4月 | 18 | 506 | 2,451 | 1,572 | |
| 平成22年4月 | 18 | 507 | 2,658 | 1,880 | |
| 平成24年4月 | 18 | 516 | 2,927 | 2,241 | |
| 平成26年4月 | 18 | 504 | 2,873 | 2,309 | |
| 平成28年4月 | 18 | 506 | 4,918 | 4,244 | 2,410 |

※1 MDC: Major Diagnostic Category 主要診断群

※2 改定時点で包括対象となっているDPC数

※3 CCPマトリックスを導入した分類においては、複数の診断群分類番号が同一の支払い分類となっている。

平成28年度診療報酬改定説明資料より

DPC調査データの概要

| 内容 | | 様式の名称 | |
|---------------------|----------|------------------------------|--------|
| 患者別匿名化情報 | 診療録情報 | 様式 1 | |
| | | Hファイル | |
| | 診療報酬請求情報 | 医科点数表による出来高情報（全患者） | EFファイル |
| | | 診断群分類点数表により算定した患者に係る診療報酬請求情報 | Dファイル |
| | | 医科保険診療以外のある症例調査票 | 様式 4 |
| 施設調査票（平均在院日数、病床利用率） | | 様式 3 | |

■平成28年度「DPC導入の影響評価に係る調査」 実施説明資料

http://www.prrism.com/dpc/setumei_20160401.pdf

■平成26年度「DPC導入の影響評価に係る調査」 実施説明資料

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000046158.pdf>

■平成24年度退院患者調査の結果報告について

厚生労働省中医協DPC分科会資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>

Administrative databaseとしてのリンケージ

平成23年度より統合

| 様式 1 | Eファイル | Fファイル |
|-------------|-------------|-------------|
| 施設コード | 施設コード | 施設コード |
| データ識別番号（患者） | データ識別番号（患者） | データ識別番号（患者） |
| 退院年月日 | 退院年月日 | 退院年月日 |
| 入院年月日 | 入院年月日 | 入院年月日 |
| 患者属性 | データ区分番号 | データ区分番号 |
| 入院情報 | 順序番号 | 順序番号 |
| 診断情報 | 行為点数 | 行為明細番号 |
| 手術情報 | 行為薬剤料 | レセプト電算コード |
| 診療情報 | 行為材料料 | 行為明細点数 |
| DPCコード | 行為回数 | 行為明細薬剤料 |
| Dファイル | 実施年月日 | 行為明細材料料 |

DPCデータの認識違い

- 第1章 自院のDPCデータを活用する

→DPC参加病院が厚労省に提出するデータ形式
様式1、EFファイルを利用（デモデータ）
（伏見研究班の研究参加病院のもの約1,000病院）

- 第2章 厚生労働省のDPC公開データを活用する

→DPC参加病院が提出したデータを、行政側で集計したデータ。
これは生のDPCデータではない。

DPC調査データで出来ること

病院経営の視点

- 出来高と包括の請求額を比較し、**無駄を洗い出す**
- 他施設と比較して**自院の立ち位置**（患者構成）を確認する。

政策提言の視点

- 診療報酬の改訂について要望する際に、DPCデータの分析を活用する。
- 診療報酬点数は、データの蓄積により分析され、決定される。

研究の視点

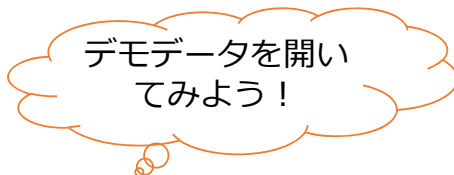
- 診療行為の評価・健全経営の為には、**提供する医療サービスの質**が高いことが大切、と考える経営者もいる。
- 薬剤疫学研究/臨床疫学研究

DPCデータの構成

- 本日のデモデータは、様式1です

| | 構成単位 | 注意事項 |
|---------------------|---|---|
| 様式1 (FF1) (患者情報) | 1 データ = 1 入院単位 (横持ち) | 再入院の患者は複数行になる。 H26年度より形式が変更 当月の退院患者のみ |
| EFファイル (診療行為情報) | 1 データ = 1 実施単位 ※朝、夕2回注射を1本ずつ = 同じ実施日に同じ注射が2 データ存在する (縦持ち) | 全てのレセプトオーダーが含まれる ため、膨大なデータ数となる。 対象を絞り込んでから分析する。 当月診療行為の実施日全て |
| Dファイル (請求情報) | 1 データ = 1 実施単位 (縦持ち) | DPCコード以外は、分析に使われ ない。 当月の請求情報全て |

様式1に慣れる



仕様書（「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料）を熟読し、各変数の定義を確認する。

（USBに同包）

※ 分析するデータに合わせた年度のものを使う

- 病名は何種類入力されていますか？
- 死亡退院はどこに入力されていますか？
- ADLってこれどうやって解釈しますか？

すべて仕様書に書いてあります。

様式 1 に基礎情報を追加する

テキスト P.32～52

- 分析用IDを追加する
- **様式 1 の分析対象を抽出する**
- DファイルからDPCコードを挿入する。
- MDCを追加
- DPC 6 桁を追加
- OPE（手術の有無）を追加
- 年齢を計算
- 65才以上高齢者にフラグをたてる。
- 在院日数を計算

サンプル分析用コマンド集を参考に

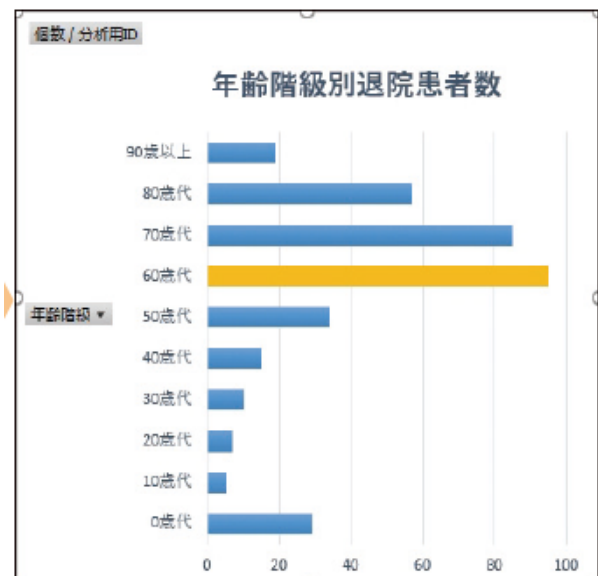
ここまでの処理が終わったデータ「FF1_demo.xlsx」を配布しています。

ピボットテーブルを活用し、 年齢階級別退院患者数をグラフ化する

• **テキスト P.53～P.60**

完成形

- 「病院情報の公表」で求められる項目のひとつ（テキストP56参照）

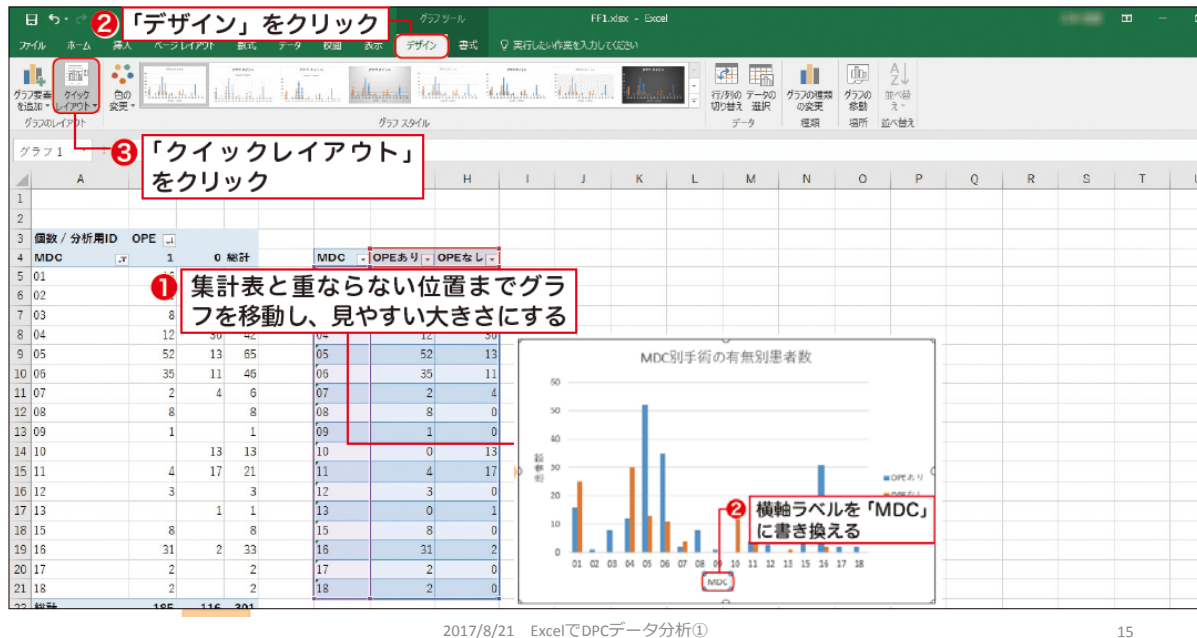


第1章-S2-Lesson1

MDC別手術の有無別件数を棒グラフで示す

完成形

• テキストP.64~P.70



第1章-S2-Lesson5

65歳未満および65歳以上の患者における入院中の大腿骨骨折の発生率を集計

完成形

• テキストP.83~P.91

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|----|-----------|-------|-------|---|-----------------------------|------------|------|------|---|
| 1 | 大腿骨骨折の患者数 | | | | 65歳以上の高齢患者における入院中の大腿骨骨折の発生率 | | | | |
| 3 | | 65歳未満 | 65歳以上 | | 大腿骨骨折 | | | 計 | |
| 4 | 入院後発症疾患1 | 1 | 4 | | あり | なし | | | |
| 5 | 入院後発症疾患2 | 0 | 2 | | 65歳未満 | 1件 (0.61%) | 163件 | 164件 | |
| 6 | 計 | 1 | 6 | | 65歳以上 | 6件 (3.13%) | 186件 | 192件 | |
| 8 | | 65歳未満 | 65歳以上 | | | | | | |
| 9 | 大腿骨骨折あり | 1 | 6 | | | | | | |
| 10 | 発生率 | 0.61% | 3.13% | | | | | | |
| 11 | 大腿骨骨折なし | 163 | 186 | | | | | | |
| 12 | 患者数合計 | 164 | 192 | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | |

第1章-S3-Q2

診療科別の主要手術トップ3の術式について、症例数、術前・術後日数、転院率、平均年齢を自院のホームページに掲載します。どのような手順で進めればいいのでしょうか？（病院情報の公表）

• テキスト P.121～P.132

完成形

| | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P | Q | R |
|---|---------|---|--------|---------------|-----|--------|--------|-----|-------|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | Kコード | 名称 | 患者数 | 平均術前日数 | 平均術後日数 | 転院率 | 平均年齢 | | | | |
| 4 | 平均 / 年齢 | | K6335 | 鼠径ヘルニア手術 | 19 | 1.26 | 2.63 | 0% | 63.26 | | | | |
| 5 | 76.00 | | K672-2 | 腹腔鏡下胆嚢摘出術 | 16 | 1.31 | 6.25 | 6% | 60.88 | | | | |
| 6 | 64.00 | | K688 | 内視鏡的胆道ステント留置術 | 11 | 1.82 | 12.36 | 9% | 73.73 | | | | |
| 7 | 70.00 | | | | | | | | | | | | |

| | F | G | H | I | J | K | L | M | N |
|---|---------|---|------------|---------------|-----|--------|--------|-------|-------|
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | | 外科・内視鏡センター | | | | | | |
| 3 | | | Kコード | 名称 | 患者数 | 平均術前日数 | 平均術後日数 | 転院率 | 平均年齢 |
| 4 | 平均 / 年齢 | | K6335 | 鼠径ヘルニア手術 | 19 | 1.26 | 2.63 | 0.00% | 63.26 |
| 5 | 76.00 | | K672-2 | 腹腔鏡下胆嚢摘出術 | 16 | 1.31 | 6.25 | 6.25% | 60.88 |
| 6 | 64.00 | | K688 | 内視鏡的胆道ステント留置術 | 11 | 1.82 | 12.36 | 9.09% | 73.73 |
| 7 | 70.00 | | | | | | | | |

2017/8/21 ExcelでDPCデータ分析①

17

付録：分析に必要な豆知識

2017/8/21 ExcelでDPCデータ分析①

18


標準化マスターとは

- マスターとは
- 単にマスターといった場合は企業内データベースなどで処理の基本となるデータを集めたマスターデータのことを指す場合が多い。この用例では特に長音記号を排して「マスタ」と表記する慣習がある。(IT用語辞典)
- 医療用標準マスターとは
- 平成13年から始まった「保健医療情報分野における情報化に向けてのグランドデザイン」のなかで、診療情報の「用語・コード」を標準化することが、アクションプランに盛り込まれ、**一般財団法人医療情報システム開発センター(以下、MEDIS-DC)が9分野10種の標準マスターを開発した。**

- 病名マスター (ICD10対応標準病名マスター)
「病名くん」などフリーソフトで閲覧可
- 手術・処置マスター
Kコード関連 外保連試案
- 臨床検査マスター (生理機能検査を含む)
- **医薬品HOTコードマスター**
- 医療機器マスター
- 看護実践用語標準マスター
＜看護行為編＞ ＜手術観察編＞
- 症状所見マスター＜身体所見編＞
- 歯科分野マスター＜病名＞ ＜手術処置＞
- 画像検査

DPCデータの分析では、
これらのコードがレセプト
電算コードと紐付けら
れている事が重要！！





新着情報

- 2015.04.13 手術-処置マスターver.20150413を公開しました。
- 2015.03.20 看護実践用語標準マスター(観察編Ver.2.0)を公開しました。
- 2015.03.13 臨床検査マスター(Ver.2.36)を公開しました。
- 2015.01.27 「地域包括ケアと新たな電子記録」セミナー開催(3/2)

事業/サービス
医療情報システム

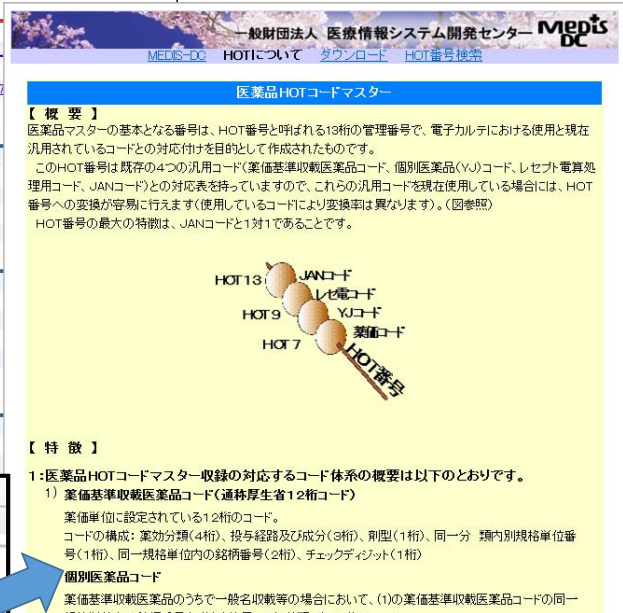
- 電子カルテ導入支援コンサルテイング
- SaaS型ME機器管理システム(MEDICSON)
- 医薬品情報データベース【添付文書】(JAMES)
- 一般処方マスター(医薬品)(MedD)
- 周産期電子カルテ等ネットワーク

標準化

- 標準マスター ▼詳細
- 医薬品システム
- 標準病名 (ゴラリ(GANDLS))
- 診療科別 (標準病名)(Med-EX)
- クリニック (ライブラリー)(医療者用・患者用)
- 国内/外に 標準化活動への取組

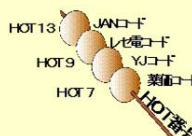
セキュリティ

- 匿名化 (プライバシーマーク(PTマーク))
- 医療情報システム安全管理評価制度(PREMIAS)
- 医療情報システム監査人試験



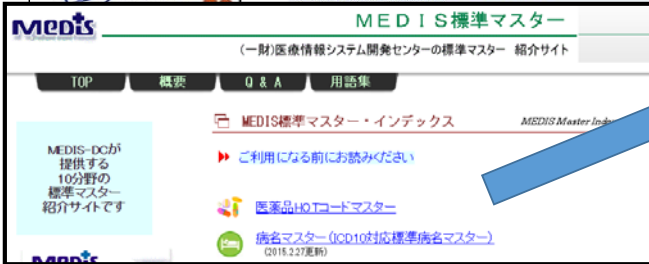
医薬品HOTコードマスター

【概要】
医薬品マスターの基本となる番号は、HOT番号と呼ばれる13桁の管理番号で、電子カルテにおける使用と現在汎用されているコードとの対応付けを目的として作成されたものです。
このHOT番号は既存の4つの汎用コード(薬価基準取載医薬品コード、個別医薬品(YJ)コード、レセプト電算処理用コード、JANコード)との対応表を持っていますので、これらの汎用コードを現在使用している場合には、HOT番号への変換が容易に行えます(使用しているコードにより変換率は異なります)。(図参照)
HOT番号の最大の特徴は、JANコードと1対1であることです。



【特徴】

- 1: 医薬品HOTコードマスター収録の対応するコード体系の概要は以下のとおりです。
 - 1) 薬価基準取載医薬品コード(通称厚生省12桁コード)
薬価単位に設定されている12桁のコード。
コードの構成: 薬効分類(4桁)、投与経路及び成分(3桁)、剤型(1桁)、同一分類内別規格単位番号(1桁)、同一規格単位内の銘柄番号(2桁)、チェックディジット(1桁)
 - 2) 個別医薬品コード
薬価基準取載医薬品のうちで一般名取載等の場合において、(1)の薬価基準取載医薬品コードの同一規格単位内の銘柄番号(2桁)を使用して細分類した12桁のコード。
 - 3) JANコード
個々の医薬品の販売用包装単位ごとに付与されている13桁の統一商品コード。
コードの構成: 国コード(2桁)、企業コード(5桁)、商品アイテムコード(5桁)、チェックディジット(1桁)
 - 4) レセプト電算処理システム用コード
厚生省レセプト電算処理システムに参加する医療機関が審査支払機関に提出する磁気レセプトにおいて使用する9桁のコード。
コードの構成: 区分(1桁)、医薬品ごとに設定された番号(8桁)



MEDIS標準マスター
(一財)医療情報システム開発センターの標準マスター 紹介サイト

TOP 概要 Q & A 用語集

MEDIS標準マスター - インデックス

MEDIS-DCが提供する10分野の標準マスター紹介サイトです

医薬品HOTコードマスター

病名マスター (ICD10対応標準病名マスター) (2015.2.27更新)

コードそれぞれに意味がある

【特徴】

1: 医薬品HOTコードマスター収録の対応するコード体系の概要は以下のとおりです。

1) **薬価基準取載医薬品コード(通称厚生省12桁コード)**

薬価単位に設定されている12桁のコード。

コードの構成: 薬効分類(4桁)、投与経路及び成分(3桁)、剤型(1桁)、同一分類内別規格単位番号(1桁)、同一規格単位内の銘柄番号(2桁)、チェックディジット(1桁)

2) **個別医薬品コード**

薬価基準取載医薬品のうちで一般名取載等の場合において、(1)の薬価基準取載医薬品コードの同一規格単位内の銘柄番号(2桁)を使用して細分類した12桁のコード。

3) **JANコード**

個々の医薬品の販売用包装単位ごとに付与されている13桁の統一商品コード。

コードの構成: 国コード(2桁)、企業コード(5桁)、商品アイテムコード(5桁)、チェックディジット(1桁)

4) **レセプト電算処理システム用コード**

厚生省レセプト電算処理システムに参加する医療機関が審査支払機関に提出する磁気レセプトにおいて使用する9桁のコード。

コードの構成: 区分(1桁)、医薬品ごとに設定された番号(8桁)

薬価基準収載医薬品コード

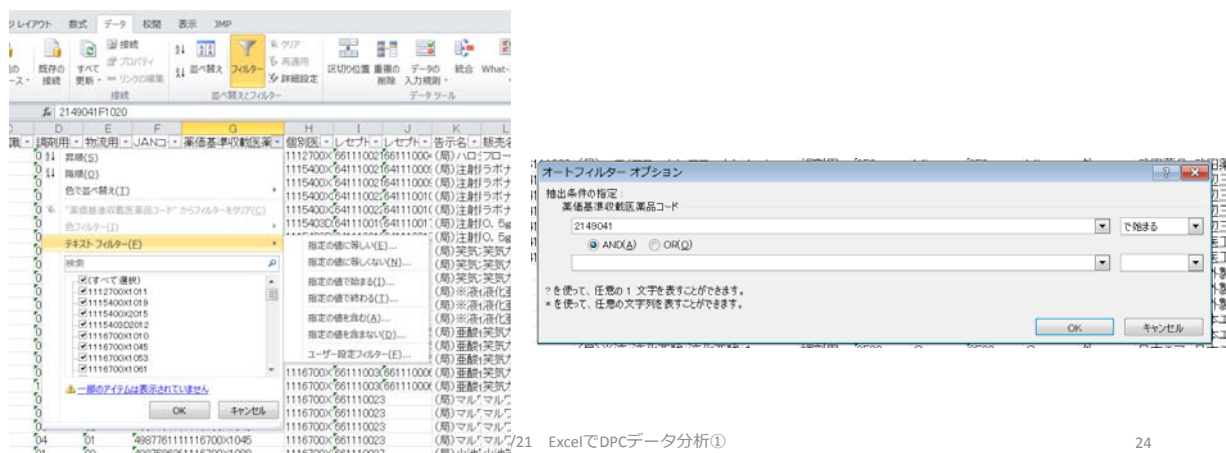
【例】プロプレス錠2 2 149040 F 1026

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

- ① 日本標準商品分類コードの87を除いた数字です。
- ② 成分別の番号です。(内服薬:001-399、注射薬:400-699、外用薬:700-999)
- ③ 剤形を表す記号です。(内服薬の場合、A-E:散剤、F-L:錠剤、M-P:カプセル、Q-S:液剤、T,X:その他)
- ④ ①～③によって分類された同一分類内での、規格単位番号です。
- ⑤ 同一規格内での、銘柄別に付けられた番号です。
- ⑥ 誤記入を検索するための番号です。

医薬品のコードに触れてみる

- MEDISのホームページでHOTマスターをダウンロードしてみる。
- 1行目を選択し、フィルタをかける
- 1行目G列「薬価基準収載医薬品コード」のテキストフィルタで、「指定の数値ではじまる」に「2149041」で始めると入れてみる



「薬価基準収載医薬品コード」が「2149041」で始まるのは、 ディオバン錠が12データ

- HOTコードは12種類でユニーク（重複なし）
- JANコードも12種でユニーク
→包装価格単位
- 薬価基準収載医薬品コードは4種
→医薬品の薬価規格単位
- レセプト電算コードは4種
→医薬品の薬価規格単位

薬価収載医薬品コードが2149041の医薬品は、一般名がバルサルタンという医薬品
後発医薬品が存在すれば、12データのみではすまない！！

病名コード（ICD-10）とは

- 疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems（以下「ICD」と略）
- 現在第10版が流通し、第11版が編纂中
- 電子版
(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/sippej/>)



マスターの活用

病名くん



病名くん <http://www.dis.h.u-tokyo.ac.jp/byomei/index.html>

標準病名マスター作業班

TOP | マスター情報 | 病名検索 | 病名くん | 病名くん2.0 | ふくろうくん |

TOP

病名マスター情報

運用補助マスター

病名くん2.0

病名くん

ふくろうくん

disPACK

病名ツール

ICD11への改訂情報

関連文献・資料

作業班について

オンライン病名検索 簡略版

ICDコードでも検索できます

Search

ICD階層病名ブラウザ

作業班メンバー用ページ

[新着情報]

■ ICD10対応標準病名マスター・傷病名マスター2.93版(2011/3/1)

130病名の追加・20病名削除などの変更があります。

改訂についての詳細はMEDISホームページ または診療報酬情報提供サービスをご覧ください。

→ [マスター情報のページ](#)

■ DPC検索ソフトウェア「ふくろうくん」

平成22年度DPC改訂対応版をリリースしました(2010/8/13)

■ 病名マスター関連ソフトウェア

○病名検索ソフトウェア「病名くん2.0」

「病名くん」の後継ソフトウェアです。病名・修飾語検索機能に加え、ICDコード決定支援などの機能が追加されています。

・2011/3/1 標準病名マスター2.93版と同梱版公開

○病名検索ソフトウェア「病名くん」

標準病名マスター・傷病名マスターの病名・修飾語が検索できます。

・2011/3/1 標準病名マスター2.93版マスター同梱版公開

○DPC検索ソフトウェア「ふくろうくん」

病名のICDコードと手術処置等からDPCを検索します。

・2010/8/13 平成22年度DPC改訂対応版公開

病名マスターの内容に関するお問い合わせ・ご要望は、本サイトでは受け付けていません。

MEDISホームページの問い合わせフォーム(<http://www2.medis.or.jp/stdcd/byomei/index.html>)をご利用下さい。

2017/8/21 ExcelでDPCデータ分析①

27

マスターの活用

診療報酬提供



マスターすべてダウンロードする場合

診療報酬情報提供サービス
--- Various Information of Medical Fee ---

サイト全般に関するページ | レセプト電算処理に関するページ | **基本マスターに関するページ** | 薬剤分類情報閲覧システム

あなたは69493959人目の訪問者です

計画停電等の影響により、サービスが一時的に停止する可能性がございます。

診療報酬情報提供サービスは、医療保険請求に関わるレセプト電算処理システムに必要な情報をご提供するホームページです。

電子点数表につきましては [社会保険診療報酬支払基金のHP](#)をご覧ください。
(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

ダウンロードファイルの圧縮形式は、zip形式のみの提供に変更しました。

平成20年7月1日より、診療報酬情報提供サービスのURLが変更になりました。
<http://www.iryohoken.go.jp>

■ 利用のご案内

医療保険請求に関わる様々な機関が事務を効率的かつ迅速に行えるよう、各種制度改正情報や点数表、業体基準などの保険請求に必要な各種の情報や磁気レセプト作成のための基本マスターを提供いたします。
ご利用いただけるサービスは以下の通りです。

🔗 サイト全般に関するページ

お知らせ

更新履歴、新規サービス追加、メンテナンス作業についてなど、ユーザーの皆様に対するお知らせおよび各種トピックが掲載されています。

利用上の注意・FAQ

データの形式はこのpdfで確認

ファイルダウンロード

このページでは基本マスターの全件データをダウンロードすることができます。

電子点数表につきましては [社会保険診療報酬支払基金のHP](#)をご覧ください。

(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

・ダウンロードのヘルプは [こちら](#)

・データ内容に関する説明は [こちら](#) (ご利用いただくには [Acrobat Reader](#)(無料)が必要です)

ダウンロードしたいマスター名をクリックしてください。

| マスター | | | 対象 | | |
|--------------------|---------|-------------|----|----|----|
| マスター名 | 件数 | 最終更新日 | 医科 | 歯科 | 調剤 |
| 医科診療行為マスター (279KB) | 5,697件 | 平成23年5月9日 | ○ | ○ | |
| 医薬品マスター (686KB) | 17,830件 | 平成23年5月20日 | ○ | ○ | ○ |
| 特定器材マスター (34.3KB) | 968件 | 平成23年3月31日 | ○ | ○ | ○ |
| 傷病名マスター (1.02MB) | 22,890件 | 平成23年3月1日 | ○ | ○ | |
| 修飾語マスター (44.8KB) | 1,975件 | 平成23年3月1日 | ○ | ○ | |
| コードマスター (8.46KB) | 319件 | 平成22年4月1日 | ○ | ○ | ○ |
| 歯科診療行為マスター | | 平成23年3月15日 | | ○ | |
| 歯式マスター (6.22KB) | 895件 | 平成20年12月24日 | | ○ | |
| 調剤行為マスター (4.68KB) | 97件 | 平成22年9月22日 | | | ○ |

20年度版のダウンロードはこちら

診療報酬情報提供サービス (厚労省保険局)

<http://www.iryohoken.go.jp/shinryohoshu/>

2017/8/21 ExcelでDPCデータ分析①

28

マスターの活用

1項目だけ検索する場合

診療報酬情報提供サービス

-- Various Information of Medical Fee --

サイト全般に関するページ
レセプト電算処理に関するページ
基本マスターに関するページ
薬剤分類情報閲覧システム

あなたは11435948人目の訪問者です

診療報酬情報提供サービスは、医療保険請求に関わるレセプト電算処理システムに必要な情報をご提供するホームページです。

平成27年4月6日より、IPアドレスが変更になりました。

電子点数表につきましては [社会保険診療報酬支払基金のHP](#)をご覧ください。
(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

労災レセプト電算処理システムにつきましては [厚生労働省「労災レセプト電算処理システム」のHP](#)をご覧ください。

■ 利用のご案内

医療保険請求に関わる様々な機関が事務を効率的かつ迅速に行えるよう、各種制度改正情報や点数表、薬価基準などの保険請求に必要な各種の情報や電子レセプト作成のための基本マスターを提供いたします。
ご利用いただけるサービスは以下の通りです。

サイト全般に関するページ

お知らせ
更新履歴、新規サービス追加、メンテナンス作業についてなど、ユーザーの皆様に対するお知らせおよび各種トピックが掲載されています。

利用上の注意・FAQ
このページでは当ホームページに寄せられたよくあるお問合せと、それに対する回答を掲載しています。

リンク 2017/8/21 ExcelでDPCデータ分析①

| マスター | 対象 | | |
|------------|----|----|----|
| | 内科 | 歯科 | 調剤 |
| 医科診療行為マスター | ○ | ○ | ○ |
| 医薬品マスター | | | |
| 特定器材マスター | | | |
| 修飾語マスター | | | |
| コメントマスター | | | |
| 歯科診療行為マスター | | | |
| 歯式マスター | | | |
| 調剤行為マスター | | | |

・27年11月25日 医薬品マスター

・27年11月20日 特定器材マスター

・27年11月16日 標準仕様に係る

検索条件:

診療行為名称<全角で入力してください>
(例) 初診

区分番号<記号はプルダウンメニューから、番号は半角数字>

検査区分

診療行為コード<半角数字で入力してください>

告示日

※26年度診療報酬改定に係るデータについては、告示年月

施行日

※26年度診療報酬改定に係るデータについては、施行年月

検索結果表示方法(1画面に表示させる件数を選択してください)

100件

29

マスターの活用

しろぼんねっと



医療事務 保険点数 診療点数 診療報酬 レセプト のこと調べるならしろぼんねっと



平成26年診療報酬点数表
質問掲示板
しろぼんねっと求人
おススメ書籍
広告掲載について

目次

医科 目次

第1章 基本診療科

第1部 初・再診科

第2部 入院科等

第2章 特掲診療科

第1部 医学管理等

第2部 在宅医療

第3部 検査

第4部 画像診断

第5部 投薬

第6部 注射

第7部 リハビリテーション

第8部 精神科専門療法

第9部 処置

第10部 手術

第11部 麻酔

第12部 放射線治療

医科 第2章 特掲診療科 第4部 画像診断 第3節 コンピューター断層撮影診断料

E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI 撮影) (一連につき)

TOP > 平成26年診療報酬点数表 > 医科 > 第2章 特掲診療科 > 第4部 画像診断 > 第3節 コンピューター断層撮影診断料 > E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI 撮影) (一連につき)

E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI 撮影) (一連につき)

| | |
|--------------------------|--------|
| 1 3テスラ以上の機器による場合 | 1,600点 |
| 2 1.5テスラ以上3テスラ未満の機器による場合 | 1,330点 |
| 3 1又は2以外の場合 | 920点 |

注